

令和4年度 第7回

日南市教育委員会

会議録

令和4年10月25日(火) 午後3時から
日南市役所・プレハブ会議室（北302号室）

- 1 会議の名称 令和4年度教育委員会 第7回会議（定例）
- 2 会議日時 令和4年10月25日（火）
午後3時00分から午後4時10分まで
- 3 出欠確認
 - （1）出席委員 都甲政文 郷谷純一 別府信一、八木真紀子
 - （2）事務局 教育部長兼学校教育課長
学校教育課学校教育担当監
学校教育課課長
学校教育課課長補佐兼教育係長
学校教育課管理係長
学校教育課管理係主査
- 4 場所 日南市役所・プレハブ会議室（北302号室）
- 5 傍聴者 1名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和4年度第7回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。教育委員は黒木委員が所用で欠席です。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【田中部長】
「事務局は、全員出席です。」

【都甲教育長】
「傍聴者は1名お見えになっております。よろしくお願いします。」
- 8 活動報告

(1) 教育長活動報告

【都甲教育長】

- ・ 9月28日、宮崎大学の椋木教授を訪問しまして、皆様にも関わっていただきました教育委員会の評価についてしていただきましたのでそのお礼と、次年度以降の取り組みについてアドバイスをいただきました。今回は制服のことについても非常に高い評価をいただきまして、SDGsといわれますけれども、それについてもいい評価をいただきました。
- ・ 10月2日、23日、体育大会と運動会の視察に4校行かせていただきました。非常に天候も良くてですね、練習の成果を児童生徒が十分発揮しておりました。委員の皆さんもですね、後で感想あればよろしくお願いします。
- ・ 10月5日、校長会をリモートで行いました。中学校の校長先生方、2日に開催された校長先生方にはお礼を伝えました。その時に話を毎回するんですけど、今回は責任を取るということについてですね校長先生方にお話しして、結局責任を取るっていうのは簡単に言うんじゃないくて、やっぱりその内容をしっかり知って、何かあった場合の体制まで考えて責任を取るという言葉がでるんじゃないかということを話しました。
- ・ 10月7日、13日、18日、3校の単独訪問、榎原中、吾田中、油津小ですけども、学級単独訪問に行かせていただきました。またこれにつきましても、後で委員の皆さんからご意見をお願いします。
- ・ 10月12日、令和4年度租税教育委嘱校校長・担当教諭会がございました。北郷中学校が2年間の指定を受けておりましたが、今回最終年ということでですね、その取り組みを発表するということで私と部長で見させていただきました。北郷中タブレットの研究をずっとしてたんですけども、そのタブレットを効果的に使った事業の取り組みの発表でした。
- ・ 10月14日、単独学校訪問で南郷小学校に行かせていただきました。実はキャリア教育のよのなか先生というのがありまして、愛泉会日南病院の事務長さんがですね、6年生に講話されました。事務長さんの経歴をお話しされて、色々経歴があつてですね、俳優さんをされたとか、ディズニーランドのパレードに参加したとかですね、今はテゲバジャーロのMCをやっているとかなかなか多彩な方でして、私よりよっぽど多彩な人生を送ってもらって、結局、一生懸命自分の好きなことを努力していくことが大事だということを6年生に熱く語っておられました。
- ・ 10月19日、味覚の授業で榎原小学校に行かせていただきました。これは県内で70校ぐらいやってるらしいんですけども、南郷地元の駅前の明月堂の経営者であります安藤さんという方がですね、実際にいろんな味を子ども達に体験させて、子ども達がですね、驚きと興味の持てる授業であったと。何か安藤さんがおっしゃったんですけど、5年生ぐらいが一番舌の感覚としては最適な時期らしいですね。もう私とかも年齢で退化してしまってたのかなかわかんないらしいですけど、そういうようなことでした。
- ・ 10月20日、九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会がございました。3年ぶりの対面で鹿児島市で行われました。日向市と西都市の2つの市がですね、研究発表というこ

とで取り組みを発表されたんですが、特に日向市に関してはですね、小中一貫とか、外国語活動とか多彩なことやられてましてですね、質問がたくさんありました。

- ・10月25日、生涯学習推進委員会がございました。これにつきましては生涯学習の推進事業、学校と地域の連携協働の取り組み、そして社会教育団体の活動等を報告しました。委員の皆さんからいろんなご意見いただいてですね、今後の生涯学習推進にですね、活かしていきたいなと思うところでした。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

10月7日に榎原中学校の学校訪問をさせていただきました。素晴らしい学校の取り組みを聞かせていただいたんですけれども、中でもやっぱり素直な子ども達ばかりでという話を伺って、しかも素直な子なんだけど高校に進んでも生徒会等で活躍されている、活発に活動されている生徒さんもうらっしゃるということで、榎原中学校の取り組みである豊かな人間性の育成という、こちらの課題に対する成果というのがしっかり反映されてるんだなと思ったところです。あと、学習面ではタイピングの練習を導入されているということでこちらの方はこれから社会にでるとなると、やっぱりタイピングという一つの必要なスキルだと思うので、これに関してはまた他の学校でも採用されるといいのかなと思ったところです。

【八木委員】

10月13日、吾田中学校の方に訪問させていただきました。学校の方からICTを含めた学力向上と命を大切にする教育、特別支援等について伺いました。その中でもやっぱり教師間の間で活性化するとか、チーム学校というのをすごく強調されていて、みんなで情報を共有しながら子ども達と向き合っていて姿勢がとてもいいなと思いました。

あと、23日の桜ヶ丘小学校に部長と行きましたけれども、とても素直な生徒さんで不登校がゼロということで、この日も欠席者がゼロという運動会でした。小さい学校ならではの温かさというか、そんな感じと逞しさが感じられた運動会でした。

【郷谷委員】

学校訪問につきましては吾田中学校と油津小学校2校ですね、訪問させていただきました。特に吾田中学校におきましては校長から最後のまとめのところで、非常に職員のまとまりがあっていいと、自分も長年いろんな学校を回ってきたけど、吾田中学校の先生方のまとまりがいいということにびっくりされていたような印象を受けました。市内の中心校でもありますので、各先生方の意識が高いのかなという感じを持ちました。

油津小学校におきましては、ICT支援員の方々とか、スクールサポートスタッフの方々に対して非常に感謝し、ありがたいという風なことをおっしゃってました。

運動会は吾田東小学校に行かせてもらいました。天気も良くてですね、全校生徒がグラ

ウンドに一堂に会して大変元気が良くてですね、いい運動会だったなと思いました。

9 前回の議事録承認

第6回の議事録について了承

10 研修

「学力向上について」 秋山指導主事説明

【別府委員】

本当に参考になりましてありがとうございます。2つありまして、最初の重点支援校訪問の参加授業参観する対象の先生なんですけど、たぶん全ての先生じゃないと思うんですけど、1校につき何名の先生の参観を見られるのかということと、その先生は学校から、この先生を見てくださと言われてるのかそれとも立候補制なのかというのをちょっと教えてください。

【秋山主事】

教諭、常勤講師ですね、全ての先生を見ます。私たち日南市教委が3名、中部事務所3名でそれでも足りない時は、学校教育担当監にも授業を見ていただいて、一人ずつ20分間という形。なので全員を一对一で見て、なので朝の大体2時間目から4時間目の授業をずっと見て、午後から20分ずつフィードバックで3人とかいう風な形でしています。それも重点校も支援校も同じです。

【別府委員】

学力向上、こちらのスーパーティーチャーを呼んで講義ということで毎年されてるんですが、参加人数に関してなんですけど、この29名というのは大体毎年こういうぐらいの参加者なんでしょうか。これが多いのか少ないのかということを考えると、もっとたくさん参加してもらった方が小学校に至っては全ての先生が対象にあると思うんですけど、その辺りはどういった形で捉えられていますか。

【秋山主事】

確かに多くの先生方に見ていただきたいと思うのですが、現在コロナ禍ということで現在各学校2名までと市教委の方で制限をかけています。

【郷谷委員】

この重点支援訪問や支援校訪問でいろいろ授業されると思うんですけど、その授業される先生の指導案というのは事前チェックされて、そこも添削をされてから授業されるんですか。

【秋山主事】

学校の方から、こういう形で授業しますという指導案があって、私たちが添削をして向こうに返すことはありませんが、全て読み込んで行きます。教科書を見て今日

の指導はこれでこの教科書で狙いはということで、本当はこの狙いが適切なのかというところから、この狙いをするためにこういう授業計画だけこういうやり方の方がいいのかなとか、こう書いてあるけどどんな風な言葉がけをするのかなとか、というのをやっぱメモしていった上で授業を見させていただく形でやるので、私たちも見させていただいた上で成果を真剣に書いていただいているので真剣に読んだ上で授業見させていただいてそれで20分間話をする形を取らせていただいています。

【郷谷委員】

もう一点、学力調査がありますよね。日南市の状況はどうなってるんでしょうか。

【秋山主事】

日南市に関しましては現在、令和4年9月付けで全ての小6、中3が全国学力調査で、市の方でまとめたものを全学校に配布をしております、インターネットでもHP上に挙げさせていただいております。日南市は全国的な水準でいきますと、この表現をそのまま使いますとあと一歩という状況でお伝えしているところです。やはり特に思考力判断、どちらかというと、漢字の書き取りであったりとか式とか、そういう一問一答系につきましては本市の子ども達はある程度解いたり学校の中習熟されたりとか、しっかり学校に授業をさせていただいていると思います。ただし、文章を読んだ上でこういう条件を付けて自分の考えを書きなさいといったところにつきましては、やはりその点につきまして今から力をつけていただけないとは思いますが、インターネットに書いてありますが、今後の取り組みとしてこのような形が大事なかと考えております。

各教科等において、児童生徒が思考し自分の考えを話したり書いたりする活動を取り入れるとともに、繰り返し学習等を行い必要な知識技能を身につけさせていくと。やはり先生だけが説明していても子どもはあまり考えることなく暗記しかしませんので、子ども達にしっかり考える材料を先生が出して、考えてすることを話し合っている中で思考判断して表現をしていく、授業の積み重ねなのかなと。

ただし、思考判断表現ばかりしていても例えば掛け算であったりとか、漢字であったりとか暗記すべきものはいっぱい必ずありますので、その辺につきましてはやはり授業の中できちんと復習する時間は最初に入れたりとか、家庭学習に出したりとか、そういう点で大事なかなと。日南については授業の中でもそういう考えて話し合うですね、中学校とか抽象度が上がってくるとどうしても説明になっていく部分があるので、そこはやっぱり授業改善の必要が入ってくるなかと。

【郷谷委員】

学力調査があつて、結果が出て手元に届くじゃないですか。それをこう分析して各小中学校です、例えば弱いところとか、この教科はまあまあだったとかですよ、そういう風なところを職権の中でお互いにディスカッションして、教科担当別にまた研修会をして、今後活かすための勉強会はされているんですか。

【秋山主事】

各学校につきましても基本的には、諸調査等につきましてはこういった結果について分析をすることとお伝えしていますので、この分析につきましても大規模校になると1学年が多い集団の傾向という形になるかもしれません。ただし、小規模校になると逆に一人ずつ分析を行ったりして学校規模において分析はしていただいております。また、例えば小6、中3なので、その時の結果だけなので他の学年は関係ないじゃないかという風に思われる節もあるんですが、実際この問題をどこまでやるか、学習全部積み重ねがあっているんで、小6であっても小5、小4、小3と積み重ねるので、弱ければその下の学年でどんなことをしていかなければならないのか、先程私がお話しした思考判断力で自分の考えを書いたり説明するのが苦手なのであれば、国語とか算数だけでなく、もちろん理科とか体育でも、いろんなことをずっとやっていった方が必ずそういった力をいうのは伸びてきますので、ぜひ教科だけに囚われず他の学年、中学校でいえば教科担任以外、調査以外の教科の先生方も一緒にやるような形でですね、現在はお願ひしているところであります。

【八木委員】

以前はですね、市全体の先生の研修会もありましたけれど、やっぱりコロナで今厳しいということですか。ここに入らなかったんです。前は全員の先生が集まってハートフルとかで講演を聞いたりとか。

【秋山主事】

講演会は8月に予定をしておりました。コロナで急に感染者が増えまして、今12月に計画をしているところです。

【都甲教育長】

複式指導について、書いてありますように児童数の減少で市内の学校も複式が増えてきてるんですね。これとあわせて学校の先生必ず僻地に行かなければなりません。僻地に行ったらほとんどの学校に複式があるわけですね。少しでも不安にならないようにということで、複式を今のうちに勉強というかそういう経験を積んだ方がいいんじゃないかということで、この研修会をここ2、3年やらせてもらっています。実際なかなか難しい面もありますので、たくさん参加してもらうのもいいかなと思っています。

それから、学力については先ほど学力調査の結果についての分析とか出ましたけど、結局個人まで下りていかないといけないわけですね。個人の処方箋がないと個別には伸びないわけなので、そういうところは校長先生にしっかりそこまで行くようにお話ししています。結局その結果が出て文章とかで分析が来るわけですけど、それを親御さんに説明して、あなたのお子さんはこういうところはもう少し力が足りませんねというのは伝わらないと駄目なので、そういうところがうまく伝わって後の授業とかおうちの勉強なんかで活かされるようにという話はしているところです。

後、全体的にその学力向上につきましてはやっぱり先生方の資質を上げていくとい

うのが大事な事なのでこういうことをやってるわけです。働き方改革が言われてますが、やっぱり何が大事なのかっていうのを考えると、こういう勉強は非常に大事だと思いますので、こういう訪問をしていきながら、まさしく支援をしていきながら先生方それぞれの資質を伸ばしていこうということを考えています。

そして3人指導主事がいますけど、実をいうと7校ずつですね、受け持ちというか担当になってもらって、この学力向上も含めて月1ぐらいな感じで学校に行ってもらって、いろんな話を校長先生教頭先生としながら、時にはこの先生授業ちょっと見てくれないとかいうこともやってですね、すぐそういう声が届くような体制をとっているんで、それについては校長先生達から非常に指導主事に皆さんがよくやってくれているという話は受けています。

1 1 議事について

議事 1 他市町村教育委員会との意見交換会について

(蛭原主査)	市町村教育委員と県教育委員との意見交換会について説明。
(都甲教育長)	これについてはよろしいでしょうか。

1 2 報告について

報告 1 市議会定例会報告（9月議会）について

(田中部長)	市議会定例会報告（9月議会）について説明（学校教育課）
(長本課長)	〃（生涯学習課）
(都甲教育長)	これについてはよろしいでしょうか。

1 3 その他

(1) 11月行事予定について

(2) 日南市教育支援センター参観及び相談員との意見交換会

- ① 日時 令和4年11月24日（木）午前10時30分から
- ② 場所 日南市教育支援センター

(3) 第8回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 令和4年11月24日（木）午後1時30分から
- ② 場所 日南市役所・プレハブ会議室（北302号室）

(4) その他

① 11月14日開催の県教育委員と市町村教育委員との意見交換会について

当日は学校訪問で、黒木委員と八木委員が訪問予定であったが、県との意見交換会がコロナ禍でこれまで中止になっていることを考慮し、学校訪問日を変更して県との意見交換会に教育委員4名全員参加することで調整。

13 閉会